

令和4年度（2022年度）

管理事業名	高齢者生きがい事業				総合計画 の体系	大綱 3	福祉・健康		
						政策 1	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
						施策 1	生きがいづくりと社会参加の促進		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 3	民生費	(項) 1	社会福祉費	(目) 3	老人福祉費		
部局名	福祉部	予算執行 所属	高齢福祉室・福祉総務室						
<b>事業の目的と概要</b> (1) 目的 高齢期を迎えても生きがいをもって、地域で健康に暮らすことができるよう、生涯学習やスポーツなどを通じた生きがいづくりの活動や就労、地域活動などの社会参加への支援を進める。 (2) 概要 ・高齢者の生きがいづくり及び福祉の増進を図るため、高齢クラブ・地区敬老行事運営委員会等の活動を支援する。 ・高齢者生きがい活動センター、高齢者いきいの家、高齢者いきいの間等の施設を運営する。 ・地区福祉委員会が年4回を超えて実施したふれあい昼食会の一部に対して、(福)吹田市社会福祉協議会を通じて助成する。									

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
高齢者生きがい活動センター講座 開催回数	回	78	210	270	高齢者生きがい活動センターの講座 年間開催回数
シルバー人材センター会員数	人	1,966	1,921	1,951	(公社)吹田市シルバー人材センターの年間延会員数

II 活動実績・成果

<p>【成果指標(活動指標) 1】高齢者生きがい活動センター講座開催回数          ・高齢者生きがい活動センターについて、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、主催講座及び自主講座の開催回数を伸ばし、高齢者の教養向上等に積極的に取り組むことができた。その結果、年間利用者数はコロナ禍前の令和元年度と同程度まで回復した。</p> <p>【成果指標(活動指標) 2】シルバー人材センター会員数          ・シルバー人材センターの年間延会員数は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、入会説明会や会員の研修会等を積極的に行い、高齢者の社会参画の促進、会員の技術向上が図られた。</p> <p>【財務情報に基づいた評価】          ・経常費用の約2億4千万円のうち、物件費が36.0%、負担金・補助金・交付金等が33.6%、給与関係費が15.4%を占めており、高齢者いきいの家指定管理料が16,186千円、高齢者生きがい活動センター指定管理料が13,010千円となっている。          ・減価償却により資産（建物）が減少している。建物の老朽化比率は59.1%となっており、昨年の56.8%を2.3ポイント上回っている。</p>	
---	--

III 課題と今後の取組

<p>高齢者生きがい活動センター講座、シルバー人材センターの活動については、高齢者の生きがいづくり、社会参画の促進等の取組を進める。          施設の老朽化については、限りある財源で計画的かつ効果的に維持補修を行うため、修繕や備品更新を計画立てて行っている。しかしながら、既存施設の老朽化に伴う費用は今後も増加するものと考えており、より効率的・効果的に維持補修を行っていく必要がある。</p>	<p>また、今後も高齢化の進展とニーズの多様化に伴い、経常費用は増加するものと考えられる。引き続き、費用対効果の検証と正確なニーズの把握を行い、持続可能かつ市民満足度の高い事業実施となるよう事業の在り方を検討していく必要がある。</p>
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	21,956	22,245	289
未収金	-	-	-	地方債	2,301	2,305	4
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	2,492	2,777	285
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	1,387,935	1,362,416	△25,519	その他流動負債	17,164	17,164	-
土地	910,935	910,935	-	固定負債	195,153	187,689	△7,464
建物・工作物	477,000	451,481	△25,519	地方債	15,744	25,339	9,595
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	24,938	25,042	104
無形固定資産	271	248	△23	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	154,472	137,308	△17,164
土地	-	-	-	負債の部合計	217,109	209,934	△7,175
建物・工作物	-	-	-	純資産	1,171,097	1,152,730	△18,367
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	純資産の部合計	1,171,097	1,152,730	△18,367
資産の部合計	1,388,206	1,362,664	△25,542	負債及び純資産の部合計	1,388,206	1,362,664	△25,542

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	4,168	4,066	3,773	△293
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	602	486	1,006	520
経常収入 小計(a)	4,770	4,552	4,779	227
給与関係費	43,496	37,349	37,366	18
物件費	58,640	67,995	87,188	19,193
維持補修費	1,249	3,395	2,454	△941
社会保障扶助費	480	360	360	-
負担金・補助金・交付金等	43,965	74,781	81,316	6,535
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	25,015	25,542	25,542	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,484	2,492	2,777	285
退職手当引当金繰入額	△6,354	△4,401	2,322	6,724
支払利息	4,096	3,803	2,793	△1,010
その他	-	191	-	△191
経常費用 小計(b)	174,070	211,506	242,118	30,612
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△169,301	△206,954	△237,339	△30,385
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	7,455	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	7,455	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△7,455	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△176,756	△206,954	△237,339	△30,385
一般財源充当額	181,373	207,522	218,972	11,450
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	4,617	568	△18,367	△18,935

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	4,770	4,552	4,779	227
行政サービス活動支出	159,402	193,270	216,187	22,917
行政サービス活動収支差額	△154,632	△188,717	△211,408	△22,690
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	8,595	-	-	-
投資活動収支差額	△8,595	-	-	-
財務活動収入	-	-	11,900	11,900
財務活動支出	18,146	18,805	19,464	659
財務活動収支差額	△18,146	△18,805	△7,564	11,241
収支差額 合計	△181,373	△207,522	△218,972	△11,450
一般財源充当額	181,373	207,522	218,972	11,450
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特長的な事項

勘定科目等	特長的な事項
【BS】 建物・工作物	減価償却費による減
【PL】 物件費	新型コロナウイルス感染症対策緩和に伴う増 ・高齢者団体用福祉バス 4,961千円 ・いきがい教室 1,460千円 高齢者いきいの間空調機器設置費の皆減 △ 4,230千円
【PL】 負担金・補助金・交付金等	地区敬老行事事業運営補助金における対象者の 増加に伴う増 3,940千円 ふれあい交流サロン新規開設に伴う増 1,428 千円
【CF】 財務活動収入	高齢者いきいの家改修事業債の皆増 11,900千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
65歳以上高齢者1人あたりコスト	1,941円	2,348円	2,678円
実績	89,694人	90,049人	90,403人
コスト	円	円	円
実績			

分析内容  
令和5年3月31日現在の吹田市65歳以上人口で算出し、令和4年度は1人あたり、2,678円のコストがかかっている。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	37,720	1,908	4.3
会計年度任用等	4,745		
特別職非常勤	-		
合計	42,465		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		54.8	56.8	59.1	2.3
施設維持補修費比率		0.1	0.3	0.2	△0.1
経常費用対公共資産比率		15.9	19.2	22.0	2.8
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		97.4	97.9	92.9	△5.0